

具申書

(令和 6 年度事務事業分)

南箕輪村行政評価委員会

令和 7 年 11 月

令和7年11月17日

南箕輪村長 藤城 栄文 様

南箕輪村行政評価委員会

委員長 渡邊文善



令和6年度事務事業行政評価結果について

1. 緒 言

行政評価委員会が令和7年度中に実施した令和6年度事務事業行政評価の結果をここに報告します。

2. 令和6年度事務事業行政評価結果

令和6年度の182事務事業の中から、①現状維持以外の事業（拡充・改善・縮小）37事業、②現状維持で過去10年間行政評価委員会で評価をしていない事業50事業、①②以外の現状維持とした事業95事業と3分類に整理し、この中から各委員が評価対象として挙げた事業のうち20事業を令和6年度の評価事業としました。

評価は、令和7年7月から10月までの期間に計5回実施し、各事務事業の担当係長等から自己評価の評価シートに沿って説明を受けました。

評価結果は、添付資料のとおりです。

なお、特記事項は次のとおりです。

(1)評価対象20事業の自己評価による総合評価の内訳は、拡充：3事業、現状維持：13事業、改善4事業です。

(2)評価の結果、本委員会は評価対象全20事業を「必要性あり」としました。

必要性ありとした事業の内訳は、拡充：1事業、現状維持：16事業、改善：3事業です。拡充、改善とした事業については、今後事業の内容について検討されるとともに、現状維持とした事業についても、委員会内で議論となった事項について意見を付していますので確認してください。

3. 令和6年度事務事業行政評価まとめ

昨年度に引き続き、事前に現地を確認して状況を把握する試みを実施しました（森林整備・利活用推進事業、給食センター事業、すくすくはうす運営事業の3事業）。事務事業の現状や課題を委員が把握できたことは、評価に際し有意義であったと感じています。今年度評価を受けた事業につきましては、当委員会で出された意見等を基に、事業内容の点検、再検討、改善等を進めていただくとともに、全事務事業についても、従来の社会環境を前提に構築されてきた仕組みそのものを問い合わせし、現状に則した事業となるよう、検討を進められることを期待します。

なお、過去に「拡充」「改善」と評価された事務事業について、令和8年2月に予定される委員会において、その後の進捗の確認を予定しています。来年度からは、第6次南箕輪村総合計画の取組みが始まりますが、めまぐるしく変わる社会情勢を踏まえ、当行政評価委員会でも、今後とも評価のあり方等の検討をすすめ、ともに役割を果たしていきたいと思います。

令和 6 年度事務事業行政評価結果一覧（20 事業）

評価結果		事業数	事務事業
必要性あり	拡充	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林整備・利活用推進事業
	現状維持	16	<ul style="list-style-type: none"> ● 民生児童委員・福祉事務調査委員事務 ● 高齢者及び障がい者タクシー利用料金助成事業 ● 地域づくり推進事業 ● 行政改革推進事務 ● 図書館管理運営事業 ● 有害鳥獣対策業務・獵友会事業 ● キャリア教育推進・学校 ICT 推進事務 ● 訴訟、法律相談、陳情処理事務 ● 広報業務 ● 妊婦・乳児健診、新生児聴覚検査費用助成、不妊・不育症治療費助成、産婦健診 ● 放課後児童クラブ運営事業 ● 防災対策事務（防災無線・A E D） ● 資金運用事務 ● 森林セラピー推進事業 ● 給食センター事業 ● すくすくはうす運営事業
	改善	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 村民センター管理運営事務 ● 保健体育管理総務事務 ● 道路除雪事業
縮小（廃止が望ましい）		0	—
廃止		0	—
合 計		20	

令和6年度事務事業行政評価結果（20事業）

評価1

事務事業	民生児童委員・福祉事務調査委員事務
担当	福祉課
経過	第2回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	民生児童委員のなり手確保に各地区で苦労している状況がうかがえる。まずは、日頃から委員の活動について広く村民に理解してもらえるよう広報に努められたい。また、候補者の選任にあたっては推薦の時期になって慌てることのないよう、長期的な視点で候補者を検討するような仕組みづくりを検討されたい。

評価2

事務事業	高齢者及び障がい者タクシー利用料金助成事業
担当	福祉課
経過	第2回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	高齢化が進み、免許返納者なども増えていく中で、大切な事業である。利用率が低い原因は、利用枚数の制限等が考えられるため、予算が有効に活用されるよう検討されたい。また、真にタクシーの利用が必要な方に使ってもらうことが重要だと考える。交通手段がない方の実態を掴んだうえで、対象者の拡大や利用回数等の内容について精査し、事業の充実を図っていただきたい。

評価3

事務事業	地域づくり推進事業
担当	地域づくり推進課
経過	第2回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	地域の自主的かつ主体的な活動を支援するための事業を、県等の補助を積極的に活用し、村の負担を最小限に抑えながら取り組んでいることがうかがえる。地域の活性化につながるよう様々なイベントにも

	助成を行っているが、助成の目的を明確にして取り組んでもらいたい。地区計画事業については、各地区の要望について予算の範囲内で対応しているが、予算配分については人口割の要素を加味するなど、現手法を適宜見直すことも検討されたい。
--	---

評価4

事務事業	行政改革推進事務
担当	地域づくり推進課
経過	第2回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	多様化する住民ニーズへの対応や、職員の働き方改革を両立させていくうえでも、事業の統廃合や廃止も含めて検討できる組織風土が必要である。職員も事業の評価結果を事業改善につなげる意識を深めていくことが必要であり、改善事例を職員全体で共有することも検討されたい。

評価5

事務事業	図書館管理運営事業
担当	教育委員会事務局
経過	第3回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	早朝開館やイベントの実施、メールでの予約など、図書館のサービス向上につながる取組みが実施されており、利用者もコロナ禍前の水準まで戻っている。蔵書数の増加に伴い、資料の保存に苦慮する現状も伺えた。除籍にあたっては、資料の有効利用という観点からも地区公民館への提供や郷土史研究等への活用なども検討されたい。時代の変化に合わせたデジタル化対応などを含めて、その時々に合ったものを採り入れた図書館をしてもらいたい。

評価 6

事務事業	村民センター管理運営事務
担当	教育委員会事務局
経過	第3回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	改善
委員会意見	地元のサークル活動や役場の会議等で利用されているが、施設の老朽化に伴い、毎年修繕や改修が必要な状況である。計画的に修繕を行い、施設が有効に利用されるよう、料金体系や会議室の利用方法も含めて検討されたい。その際、地域団体・商工会との連携や子どもの居場所づくりという視点もあると良い。

評価 7

事務事業	保健体育管理総務事務
担当	教育委員会事務局
経過	第3回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	改善
委員会意見	村民の健康維持にとって運動機会の確保は大切である。村には総合型地域スポーツクラブがあり、スポーツの推進に力を入れている一方、運営する役員や指導者、各地区のスポーツ推進員などの担い手が固定化し、次世代の発掘・育成が課題である。スポーツの種類やスポーツに対する考え方も多様化している中であり、村民のニーズを把握し、今後のスポーツ推進の方向性を、指導する人材の発掘と合わせて検討していく必要がある。

評価 8

事務事業	有害鳥獣対策業務・猟友会事業
担当	産業課
経過	第3回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	鳥獣被害対策は、農作物への被害減少に必要である。昨今はクマがたびたび目撃されており、村民の安全な生活のため、猟友会員の重要性も高まっているが、担い手の高齢化により後継者不足も懸念される。有害鳥獣に関する活動への村民の理解・関心を高める周知活動も行い、新たな担い手の確保にも努められたい。

評価 9

事務事業	キャリア教育推進・学校 ICT 推進事務
担当	教育委員会事務局
経過	第4回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	キャリア教育については、子供たちの生きる力を育むための取り組みであり、職場体験や自然体験学習、地域の人たちとの関わりを通じて、村を知り、将来を考える取り組みが行われている。効果がすぐに現れるというものではないが、引き続き継続して取り組んでもらいたい。また、ICT教育については、情報化社会の中では必須なものであり、取り残されてしまう子どもがいないよう、できるだけ決め細やかな対応をしてもらいたい。

評価 10

事務事業	訴訟、法律相談、陳情処理事務
担当	総務課
経過	第4回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	役場に個人間のトラブルなどが寄せられた際に、行政では対応できないとあまり親身になってもらえなかったり、要望が寄せられた際に、担当部署が不明でたらい回しになったりといった事例があると伺った。村に相談があった場合は、行政として対応できるかできないかという前に、相談者に寄り添う対応を心がけてもらいたい。また、住民の相談ニーズの中には司法書士でも対応できる案件も多いと思われる。司法書士の活用も検討されたい。

評価 11

事務事業	広報業務
担当	総務課
経過	第4回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	住民に行政情報を伝える手段として、広報紙やウェブサイト以外にもLINEやメール配信、ケーブルテレビ等と現状でもしっかり情報発信ができている。若い住民向けにSNSの活用なども検討されているようだが、こうした媒体を利用している人が村の情報を見るのかどうかは疑問である。現状のLINEやメール配信については、文章が長すぎて見にくいという意見もあるので、既存の媒体の配信方法については改善工夫されたい。

評価 12

事務事業	道路除雪事業
担当	建設水道課
経過	第4回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	改善
委員会意見	ライフラインの根幹である道路については、村が除雪し、その他は住民の協力を得て行うというのが良いのではないか。除雪に対して住民の当事者意識が薄まっているように感じるので、まずは、自分でできるところは自分でするという意識が醸成されるよう広報に努められたい。また、除雪ボランティアについては、高齢化により新たなメンバーの確保が必要である。補助金額が安いという声もあるので、補助金額の増額も含めて検討されたい。

評価 13

事務事業	妊婦・乳児健診、新生児聴覚検査費用助成、不妊・不育症治療費助成、産婦健診
担当	こども課
経過	第5回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	不妊・不育症治療などは、以前と比べて助成制度が充実してきていると感じる。相談される側も大変だと思うが、妊娠・出産を望む夫婦にとって大事な事業なので、今後も継続してもらいたい。

評価 14

事務事業	放課後児童クラブ運営事業
担当	教育委員会事務局
経過	第5回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	放課後の子どもたちが、安全に過ごせる居場所として施設を充実させており、支援員の確保や研修による支援員の資質の向上を行っていることが伺えた。支援員の業務は大変であり、ただ子どもたちをみているだけではないため、支援員として村独自の資格を設けるなど、支援員の位置づけをしっかりさせたほうが、運営がうまくいくのではないか。また、待遇面での充実も必要ではないか。

評価 15

事務事業	防災対策事務（防災無線・A E D）
担当	危機管理課
経過	第5回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	緊急時の情報伝達方法として、防災無線以外にもメールやLINEなどを通じた手段の多様化やAEDの設置数の増加など、地域の防災力強化を目指していることが伺える。ただ、村のメールやLINEについては、文章が長すぎて分かりにくい面がある。画像を使用したり、協調する部分は色を変えたりするなど、工夫されたい。また、AEDの

	使用については、どういった場合に使用するかなどを含めて広報にも努められたい。
--	--

評価 16

事務事業	資金運用事務
担当	会計室
経過	第5回委員会に会計管理者が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	公金の運用であるためリスクはとれず、一般資金や基金を運用して元本を確保し、利益を得ることを目指しているため、現手法が最適ではないか。今後についても新たな金融商品を検討するなど、効率的な資金運用に努められたい。

評価 17

事務事業	森林整備・利活用推進事業
担当	観光森林課
経過	第6回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	拡充
委員会意見	松枯れ被害が拡大しているアカマツを計画的に伐採し、樹種多様性を重視した大芝高原の新たな森づくりが進められていることがうかがえる。利用者の安全にも配慮しながら効率的な整備を進めるには、金銭的な課題もあるが、大芝高原は、村民の憩いの場であり、大切な財産である。「大芝高原森林づくり実施計画」の中で目指す森の姿が実現できるよう、目的を持った森林づくりを進められたい。

評価 18

事務事業	森林セラピー推進事業
担当	観光森林課
経過	第6回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	森林セラピー推進事業では、森林を活用した健康づくりや観光促進を図る取組みが行われている。セラピートラベルなどを通じた、森林への理解や利用の促進は良いと思うが、「セラピー」という言葉が親しみにくいという意見もある。親しみやすいネーミングやSNSなどを使って気軽に接する場として周知することも検討してはどうか。また、村民がセラピーガイドとなり常駐するなどして、気軽にに入る森としての工夫も検討されたい。

評価 19

事務事業	給食センター事業
担当	教育委員会事務局
経過	第6回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	評価委員会で給食センターの見学と学校給食の試食会にも参加した。衛生面も問題なく、地産地消の取組みが行われているのはもちろん、子どもたちへの食育にも力を入れていることが見て取れた。今後も児童生徒の健やかな成長のために、安全で安心な給食の提供に努められたい。

評価 20

事務事業	すくすくはうす運営事業
担当	こども課
経過	第6回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	評価委員会としてすくすくはうすの現地確認を行ったが、昔と違い父親が子どもと訪れている光景があった。母親だけでなく、父親や祖父母など子育てに携わる人たちがもっと訪れる施設となれば良いと感じた。未満児での保育園入園が増えることに伴い、すくすくはうす

の利用者は減ることも想定されているが、就園前の小さい子どもがいる親子の情報交換や交流の場として、需要はあると思われるため、今後も継続して取り組まれたい。

行政評価委員会会議の経過

令和 7 年度

開催日		協議内容
第 17 回	令和 7 年 6 月 16 日	協議事項 評価事業の選定
第 18 回	7 月 14 日	協議事項 ○評価（4 事業） ・民生児童委員・福祉事務調査委員事務 ・高齢者及び障がい者タクシー利用料金助成事業 ・地域づくり推進事業 ・行政改革推進事務
第 19 回	8 月 4 日	協議事項 ○評価（4 事業） ・図書館管理運営事業 ・村民センター管理運営事務 ・保健体育管理総務事務 ・有害鳥獣対策業務・猟友会事業
第 20 回	9 月 8 日	協議事項 ○評価（4 事業） ・キャリア教育推進・学校 ICT 推進事務 ・訴訟、法律相談、陳情処理事務 ・広報業務 ・道路除雪事業
第 21 回	9 月 29 日	協議事項 ○評価（4 事業） ・妊婦・乳児検診、新生児聴覚検査費用助成、不妊・不育症治療費助成、産婦検診 ・放課後児童クラブ運営事業 ・防災対策事務(防災無線・AED) ・資金運用事務
	10 月 15 日	現地確認（すくすくはうす、学校給食センター、大芝高原みんなの森）
第 22 回	10 月 27 日	協議事項 ○評価（4 事業） ・森林整備・利活用推進事業 ・森林セラピー推進事業 ・給食センター事業 ・すくすくはうす運営事業
第 23 回	11 月 11 日	協議事項 ○令和 6 年度事務事業行政評価結果に対する検討結果についてまとめ ○令和 6 年度事務事業行政評価具申書について
	11 月 17 日	具申 ○村長へ令和 6 年度事務事業行政評価結果を具申

南箕輪村行政評価委員名簿

任期：令和5年7月1日から令和8年6月30日まで

委員長	渡邊 文善
委員長代理	有賀 直実
委 員	林 俊貴
委 員	市 村 豊 (令和6年3月31日まで)
委 員	白山 裕崇 (令和6年4月1日から)
委 員	原 浩
委 員	土屋 幸子
委 員	天田 美咲

敬称略